

の あれ野のたび

だい5しょう



主はリーハイのむすこたちがつまをむかえ、生まれてくる子どもにもふくいんを教えるようにのぞまれました。主はリーハイに、むすこたちをエルサレムにおくりかえして、イシマエルのかぞくをつれて来るようにめいじられました。(1ニーファイ7：1-2)



ニーファイたちは、またエルサレムへもどって行って、主のぞんでおられることをイシマエルに話しました。すると、イシマエルはリーハイのむすこたちを信じ、かぞくぜんいでリーハイのむすこたちについて行きました。(1ニーファイ7：3-5)



ところが、あれ野をたびするとちゅうで、レーマンとレムエルとイシマエルのかぞくの何人かが、はらを立てました。にいさんたちはエルサレムへ帰りがたかったです。(1ニーファイ7：6-7)



ニーファイはレーマンとレムエルに、主が今までにされたことを思い出すように、そしてもっとしんこうをもつように言いました。にいさんたちはニーファイにはらを立てましたが、にいさんたちはエルサレムへは帰りませんでした。(1ニーファイ7：8-13, 16, 21)



その後、ニーファイとその兄たちとゾーラムは、イシマエルのすめたちとけっこんしました。(1ニーファイ16：7)



主はリーハイに、たびをつづけるようにおっしゃいました。つぎの朝、リーハイがてんまくの外へ出てみると、しんちゅうでできた、丸いたまがありました。そのたまは、リアホナといって、あれ野をリーハイたちが行くほうこうをさしていました。(1ニーファイ16：9-10)



リーハイたちは、食べものとたねをあつめ、てんまくをもって出かけて行きました。そして、リアホナがさすほうこうにしたがって、何日も何日もあれ野をたびしました。(1ニーファイ16：11-16)



たびの間、ニーファイとにいさんたちは、食べものをさがしました。弓と矢と、石と石なげきで、えものをとることができました。(1ニーファイ16：14-15)



ところが、ニーファイのはがねでできたゆみがおれ、にいさんたちの弓もだんりよくがなくなりました。えものがとれなくなったので、みんな、おなかがすいてたまりません。そして、レーマンとレムエルは、ニーファイにはらを立てました。(1ニーファイ16：18-21)



ニーファイは木の弓を作り、どこへ行ってかりをすればよいか、お父さんにたずねました。リーハイはリアホナを通じてみちびきをうけました。ニーファイは、そのみちびきにしたがって、えものを見つけました。(1ニーファイ16：23, 26, 30-31)



リアホナは、リーハイのかぞくがちゅうじつで、きんべんで、じゅうじゅんな時だけうごきました。(1ニーファイ16：28-29)



ニーファイは、見つけたえものをもってんまくに帰りました。みんなは、食べものが手に入ったので大よこびでした。そして、はらを立てたことをこうかいし、うけているしゅくふくを神にかんしゃしました。(1ニーファイ16：32)



あれ野のたびは、楽ではありませんでした。つかれるし、それにうえたり、のどがかわいたりすることもあったからです。イシマエルがしんだ時、イシマエルのむすめたちは、なげきかなしんで、リーハイにふへいを言いました。(1ニーファイ16：34-35)



レーマンとレムエルも、もんくを言い、主がニーファイに話しかけられたことをしんじませんでした。二人はリーハイとニーファイをころして、エルサレムへ帰りたと思いました。(1ニーファイ16：37-38)



しかし、主の声が聞こえて、レーマンとレムエルは、リーハイとニーファイにはらを立てないように言われました。二人はくいあらためました。(1ニーファイ16：39)



リーハイとそのかぞくは、つらいたびをつづけましたが、神はみんなをたすけ、強くしてくださいました。子どもも生まれました。リーハイとサライアは、さらに二人のむすこをもうけ、ヤコブとヨセフと名づけました。(1ニーファイ17：1-3；18：7)



8年間もあれ野をたびしたすえ、リーハイのかぞくは海べにたどりつきました。そこは、くだものがみのり、野みつがとれるところで、パウンティフルと名づけました。(1ニーファイ17：4-6)